

ナショナルサイクルルート制度のレビュー（案）



ナショナルサイクルルート制度の概要

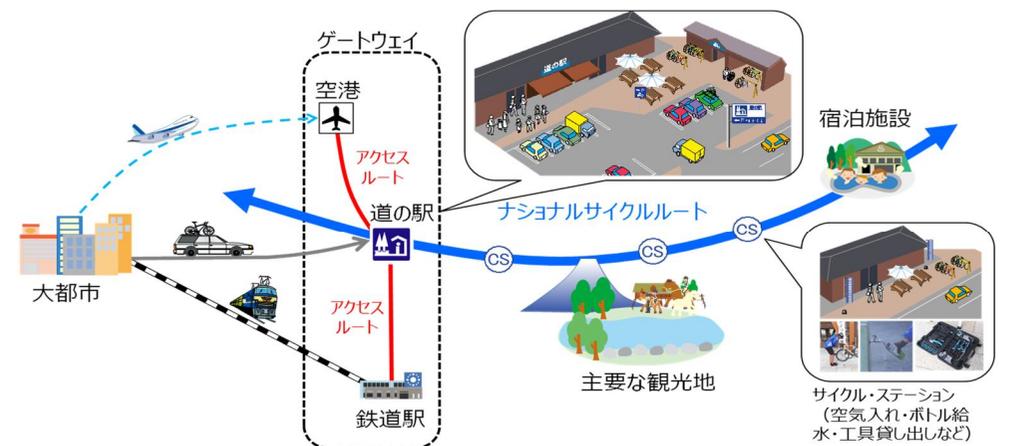
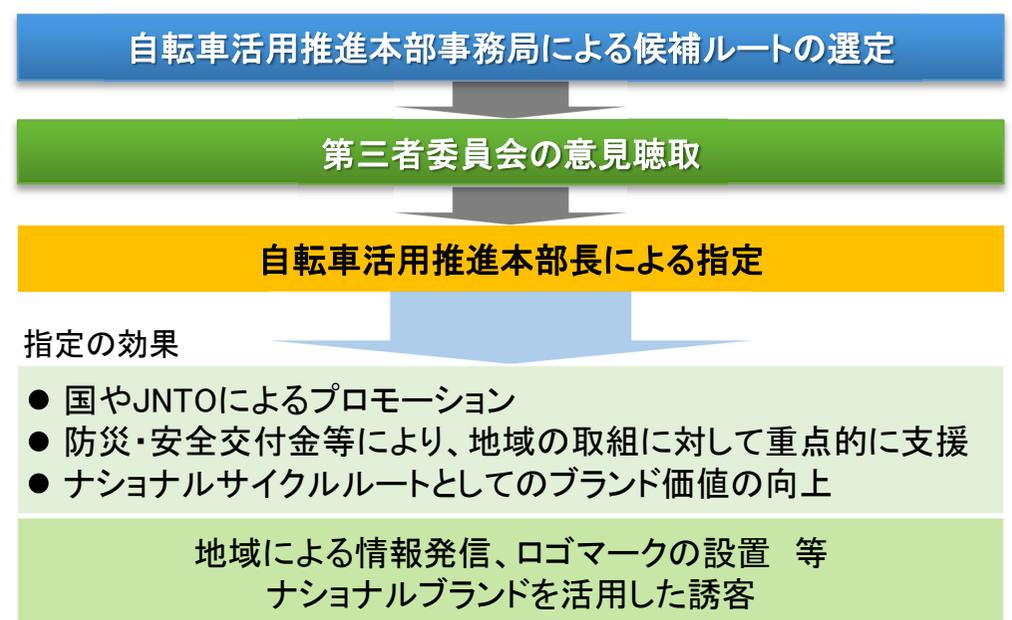


- 優れた観光資源を有機的に連携したサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るために、一定の水準を満たすルートを対象として「ナショナルサイクルルート」に指定する。
- ルートにおける取組の継続性を評価する必要があることから、新たなルートの指定の有無の確認については、国の自転車活用推進計画期間内に1回とし、3～5年ごとに実施する。

■ ナショナルサイクルルートの指定要件

観点	指定要件
1. ルート設定	① サイクルツーリズムの推進に資する魅力ある安全なルートであること ・ルートの延長が概ね100km以上であること(島しょ部を除く) 他
2. 走行環境	① 誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること ・矢羽根等により自転車通行空間が整備されていること 他
	② 誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること ・経路などの路面表示、案内看板が設置されていること 他 (単路部概ね5kmごと、すべての分岐部)
3. 受入環境	① 多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること ・鉄道駅などに、レンタサイクルや着替え場所等が整備されていること 他
	② いつでも休憩できる環境を備えていること ・サイクルステーションがルート上に概ね20kmごとに整備されていること 他
	③ ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境を備えていること
	④ サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること ・ルート直近にサイクリスト向けの宿泊施設が概ね60kmごとにあること 他
	⑤ 地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境を備えていること
	⑥ 自転車のトラブルに対応できる環境を備えていること
4. 情報発信	⑦ 緊急時のサポートが得られる環境を備えていること ・救急車などが概ね2kmごとに到達できること 他
	① 誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること ・ホームページなどで日英2か国語以上により情報発信をしていること 他
5. 取組体制	① 官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること

■ ナショナルサイクルルートの指定手続き





- 平成30年6月 第1次自転車活用推進計画の閣議決定
目標3 サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現
施策12. 官民が連携した走行環境の整備や、サイクルトレインの拡大等によるサイクリストの受け入れ環境の整備等により、世界に誇るサイクリング環境を創出し、サイクルツーリズムを推進する。
措置③ 日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートについて国内外へPRを図るため、ナショナルサイクルルート(仮称)の創設に向けて、インバウンドにも対応した走行環境や、サイクリングガイドの養成等受け入れ先として備えるべき要件、情報発信の在り方等について検討する。
- 平成30年11月 ナショナルサイクルルート制度の検討のため、自転車の活用推進に向けた有識者会議の下に「ナショナルサイクルルート制度検討小委員会」を設置
- 令和元年8月 制度検討小委員会において制度(案)をとりまとめ
- 令和元年9月 「ナショナルサイクルルート制度の創設について」を自転車活用推進本部において決定
⇒ ナショナルサイクルルート制度の創設
- 令和元年10月 「ナショナルサイクルルート審査委員会」を設置
- 令和元年11月 ナショナルサイクルルートの1次指定(3ルート)
- 令和3年5月 ナショナルサイクルルートの2次指定(3ルート)



- ナショナルサイクルルート制度について、創設から6年以上が経過し、ルート数も増えてきたところ、第3次自転車活用推進計画を踏まえ、我が国におけるサイクルツーリズムをけん引する観点から、ナショナルサイクルルートのこれまでの運用状況等をレビューし、取組の改善・充実を図ることとしたい

第3次計画における記載(抜粋)

【本文】

国内外から地方部等へ観光客を呼び込む一つのコンテンツとしてもサイクルツーリズムを推進するため、ナショナルサイクルルート制度の充実をはじめ、サイクリングルートの走行環境及び受入環境の整備並びに情報発信の強化や、マウンテンバイクを活用した様々な取組の推進等により、世界に誇るサイクリング環境を創出する。

【措置】

- ① 走行環境や受入環境の整備、地域の魅力づくり等を支援し、ナショナルサイクルルートをはじめとする世界に誇りうるサイクリングルートの整備を推進し、これらのサイクリングルートについて、自転車活用推進本部や日本政府観光局(JNTO)等のウェブサイトの活用等により情報発信を実施し、国内外のサイクリストの誘客を図る。また、ナショナルサイクルルートのこれまでの運用状況等をレビューし、制度の充実・改善を図る。

レビューの視点(案)

- ✓ **フォローアップ**
〈現行〉計画期間内に1回
⇒ ルートの魅力向上に向け、フォローアップの頻度は適切か
- ✓ **指定プロセス**
〈現行〉(公募によらず)事務局が候補ルートを選定
⇒ 候補ルートの選定方法は適切か
- ✓ **指定要件**
〈現行〉走行環境、受入環境、推進体制等の5つの観点
⇒ 自転車活用推進のため、見直すべき要件はないか

レビューの進め方(案)

3次指定以降

制度のレビュー ⇒ 論点の洗い出し
(NCR協議会等関係者へのアンケート等)

各論点について審査委員会で議論
⇒ 対応方針(案)のとりまとめ

ナショナルサイクルルート制度の改定